

特別なニーズをもった子どものひとりひとりの育ちというのは、個別で行われる専門的支援と、家族や園での人々との関わりや集団生活の中での体験が相互に関わり合い、補いあって培われていくものです。

今回は、関心の幅が狭く、こだわりが強い子どもたちの生活、特に「遊び」に目を向け、こうした彼らに対してどのような理解と支援が必要であるのか、また、彼らと生きる保護者を含めた大人にどんな意識や支えがあるといいのか、発達支援事業所の支援者、また幼稚園や保育園の先生たち、さらには、発達障害を抱える子どもと家族の医学的支援、臨床心理学的支援を展開している助言者たち、そしてご参加くださる皆さんとともに、いろいろな角度から考えてみたいと思います。この機会が、「ともに生活し、ともに育っていく」インクルーシブな環境づくりにどんなふうにつながっていくか、そんなことを楽しみにしています。

「遊び」を通して、
子どもの育ちを共に考えるシンポジウム

発達支援のめざすもの

～子どもの興味・関心・遊びを
広げたくなる時～

開催
日時

令和5年 12月17日(日)
13:00～16:00

会場

東京女子大学
24202 教室
住所：杉並区善福寺 2-6-1

※手話通訳あり

第一部 話題提供者からの報告

第二部 シンポジウム

司 会：森田慎一郎氏（東京女子大学）

助 言 者：勝盛宏氏（河北総合病院）

前川あさ美氏（東京女子大学）

話題提供者：区内児童発達支援事業所、保育園、幼稚園

区内児童発達支援事業所によるポスター発表あり

申込期間 | 令和5年10月16日(月) から 12月11日(月)

右の二次元コードからお申込みください。

対 象 者 | 発達障害に関心のある方

参 加 費 | 無料

定 員 | 200名（先着順）*託児なし

問 い 合 わ せ | 杉並区立こども発達センター 03-5317-5661

